

施策番号	0403		
施策名	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ		
概要	自主的に取り組む地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップを確立するため、京都市が新たなしくみづくりや支援機能の強化を図る。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関係する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)	a	a	61	64	65	98.5%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	町内会，自治会などの地域の組織の主体的な活動と，それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	22	112	202	99	65	500	c	
		4.4%	22.4%	40.4%	19.8%	13.0%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						c	

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その協力体制も実感されることに意義があるため、市民の実感に重みを置く。						25年度 B
(原因分析) 【客観指標】地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数については、継続して支援を続けている学区及び新たに支援を開始した学区がある一方、支援が終了した学区も多かったことにより目標値にわずかに届かず、a→b評価となった。 【市民の実感】4割以上の方が「どちらとも言えない」と回答されており、c評価が続いている。平成24年4月に施行した地域コミュニティ活性化推進条例に基づき様々な施策を進めているものの、サービスを利用しているのが一部の地域住民に限られていることが原因と考えられる。						24年度 B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	【北区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	56,797	60,158	かなり良い	区役所
2	【上京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	58,503	61,737	良い	区役所
3	【左京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	76,771	78,432	良い	区役所
4	【中京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	57,491	54,111	かなり良い	区役所
5	【東山区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	50,181	52,806	良い	区役所
6	【山科区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	62,401	75,002	かなり良い	区役所
7	【下京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	65,367	66,677	良い	区役所
8	【南区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	78,792	94,078	かなり良い	区役所
9	【右京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	107,880	97,274	良い	区役所
10	【伏見区・深草支所・醍醐支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	159,957	167,741	良い	区役所
11	【西京区・洛西支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	102,731	115,171	普通	区役所
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●市民に最も身近な区役所・支所における協働型のまちづくりを一層進めるとともに、サービスの利用拡大が課題となっていることから、地域コミュニティに関する総合相談窓口「地域コミュニティサポートセンター」や地域活動・市民活動を応援する「自治会・町内会&NPOおうえんポータルサイト」の運営、「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」などの取組を総合的に推進することにより、地域コミュニティと本市とのパートナーシップの確立と周知に努める。

施策名	0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ				
指標名	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)					
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9		
1 指標の説明						
地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数						
2 指標の意味						
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて、地域組織と京都市の共汗によるまちづくりの進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：まちづくりアドバイザーへの調査						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	61	64	3学区増	65	平成22年度の現況値が47学区であり、平成23～32年度に110学区（年6学区増）にすることを目標とする。	98.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		110学区	32年度	58.2%	平成23年度から32年度に年6学区増	
5 評価基準						
目標値に対する割合が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
24		25		26		
a		a		b		